

24 多様な非営利組織で働く多様な人びと

～NPO の価値を問う～

○開催目的

多様な価値観、多様な生き方が認めあえる社会こそ、豊かな社会。そんな社会の実現に必要なものの1つ、それが NPO ではないだろうか。企業と何が違うのか、これからの社会に NPO がどう関わっていくべきなのか。

本分科会では、経歴もやっていることも異なる非営利組織で働く人びとの話から、非営利組織の存在意義を明確にすると同時に、次世代につなぐために現状の課題を整理し、解決への糸口を参加者と一緒に考えます。

○開催日時

2月14日（日）13：30 ～ 16：00

○参加者数・出演者・団体

参加者数：40名（参加者28名、出演者4名、スタッフ8名）

出演者・団体：内田 智子（ODA 実施機関⇒NPO）

神元 幸津江（グローバル企業⇒ローカル NPO）

笹沼 佑規（民間非営利団体一筋）

高橋 義博（町工場⇒企業⇒NPO）

○プログラム内容・成果と課題

1 出演者からのお話し

○4人の出演者から、所属している団体と仕事内容、そこで働くきっかけ、やりがいなどを自己紹介含めて話していただきました。

- ・学生時代からの夢、自己分析をした結果の選択、キーワード検索で見つけた等、非営利組織で働くきっかけはさまざまでしたが、全員が今の仕事に価値を見出し、やりがいを持って仕事に臨んでいました。

2 シンポジウム&質疑応答

○非営利組織の課題について、シンポジウム形式で整理していただきました。

- ・自己資金の確保、組織基盤の弱さ、世代継承の難しさ。
- ・行政からの委託も増えているが、その専門性を認められてというよりも、コスト削減という面も否めない事。
- ・NPOがまだまだ社会的に認知されておらず、NPO＝ボランティア＝無償（格安）



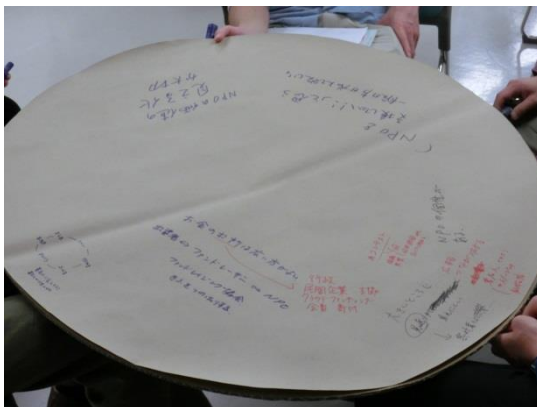
といったイメージが強い事。

- ・給与面や職務体系を考えると、学生の就職先としては不安がある事などが課題として上がりました。
- ・参加者からは、行政からの委託期間が長くなったり、事業が安定してくると現場のスタッフやボランティアと、理事など管理者との間で意志の疎通が難しくなると言ったお話や、学生からは、やはり給料が安くて生活が大変なのか、といった質問もありました。

3 グループディスカッション

○「NPOの価値を上げるには？」をテーマに、円卓型のダンボール紙を用いてグループで話し合いました。

- ・価値ある事をしている、とは思うが、具体的にNPOが何をしているのか分からない。NPO側からもっと何をしているのかを発信する必要がある。
- ・社会的認知が低いので、もっとメディアなどを使って周知してはどうか。
- ・NPOコンテストなどを開催してはどうか。
- ・企業とNPOの役割の違いをもっと社会に知ってもらうべき。
- ・助成金とかだけではなく、もっと幅広く収入源を持った方がいい、などなど多くのヒントとなる意見が出ました。



◎ ふり返って

非営利組織をテーマとした分科会を企画する中、集まった実行委員メンバーで自分たちの感じている思いや悩みを共有しているうちに、この話し合い自体を参加者と共有してはどうか、という流れになりました。そのため、登壇者全員が実行委員という珍しい分科会となりましたが、実体験に基づく課題提起ができたのではないかと、と思っています。

非営利組織で働く人びと自身が、もっとオープンに自分たちの思いや価値を社会に訴え、共感してもらう人を増やす必要がある事。とはいえ、予算も少なく少人数のNPOも多い中、中間支援組織の役割も重要なのではないかと自分たち自身も気づきや学びの多い分科会となりました。NPOでインターンをしている学生が、「新卒でNPOに入っても役に立たないと思うから、社会で経験を積んで将来的にNPOで働きたい」といった言葉にハッとしました。少数精鋭で頑張っている団体

も多い中、そんな頑張っている大人の姿を若い人たちに見せていくのも我々のすべきことだな、と。

○参加者の声

- NPO/NGOとして活動する大変さがよく分かりました。自分たちの会も、社会に向けてどう啓発していくか悩むところです。
- 自分の中でのNPOに対する考え方も変わり、社会の中でのNPOに対する考え方も変えていきたいと思いました。
- 制度からあふれた社会のニーズを満たすためのNPOの大切さが分かりました。
- グループ分けしての意見交換で、いろいろな人の話が聞けて良かったです。
- 働く方の生の声に触れることができました。NPOで働きたいという学生が沢山いたことにも大変刺激を受けました。

○担当者・記録

《担当》	神元 幸津江（いたばし総合ボランティアセンター）
	内田 智子（認定 NPO 法人 ESA アジア教育支援の会）
	笹沼 佑規（中央労働金庫）
	高橋 義博（調布市市民プラザあくろす 市民活動支援センター）
《運営サポート》	増平 貴之（NPO 法人日本ファシリテーション協会）
	筋 清（運営ボランティア）
《記録》	神元 幸津江（いたばし総合ボランティアセンター）
	小川 美佐子（NEC ネットエスアイ株式会社）